

自然保護大学

～道南の自然の魅力～

日時 2022年11月19日（土）13時～18時

会場 札幌市立大学サテライトキャンパス（札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12階）

定員 50名（ただし、コロナウイルス感染症の状況により変更があります）

参加費 3,000円（会員 1,500円）

オンライン オンライン参加費：1,500円（会員 1,000円）

希望者は、参加の旨を11月9日までに協会（メール：info@nc-hokkaido.or.jp）までお知らせください。

講演者：伴野俊夫さん（噴火湾渡り鳥研究会 代表）

演題：ヒヨドリの海越え

要旨：ヒヨドリの室蘭近郊と噴火湾での秋の渡り状況を調査した。ヒヨドリは大きな体形で鳴きながら群れをなして飛ぶので見つけやすく、精度のよい調査データを得ることができる。ヒヨドリの出現密度は室蘭半島よりも西側の地域が多く、ポイシレットから伊達市方面へ陸路を渡る群れと対岸の砂崎岬から鹿部町地域へ海上を渡る群れに分かれる。さらに海上の追跡調査によって、洋上における海鳥と遭遇した際の行動などを明らかにした。

講演者：吉田浩平さん（七飯町環境生活課自然環境係、大沼ネイチャーセンター）

演題：ラムサール条約登録湿地「大沼」の保全と利活用について

要旨：1958年に国定公園に指定された大沼は駒ヶ岳を中心とした自然の魅力ある観光地であるが、自然と観光と産業の軋轢が続いていた。その中で2012年にラムサール条約登録湿地となり、大沼ラムサール協議会が設立した。協議会では、子供たちの活動、高校・大学の授業への協力、研究者との連携、シンポジウムなどの開催など多様な活動を行っている。条約登録からの10年の協議会の活動などを中心にお話する。

講演者：藤島 斉さん（南北海道自然保護協会 理事長）

演題：夜景だけなんてもったいない！－野生の花の宝箱「函館山」の秘密－

要旨：植物分布の北限と南限の植物が多い道南にあって、函館山では1945年～1951年の調査により647種もの高等植物が確認された。その後も調査が進められ、現在はおよそ800種の植物が確認されている。標高334m、周囲約9kmのコンパクトな山になぜ全道の1/3を占める植物が自生するのか。函館山誕生の歴史から、函館山に期待する今後の役割などについて、花の写真を紹介しながらお話する。

主催：一般社団法人 北海道自然保護協会

電話：011-876-8546

Webサイト：<https://nc-hokkaido.or.jp/index.html>

※ ご注意：新型コロナウイルス感染症拡大による中止などがあり得ますので、上記協会ホームページあるいは協会事務所でご確認ください。